

＜先週の説教から＞

『ルカ 84 — いちばん偉い人は？』

武田 真治 牧 師

イザヤ書 11:1～10 ルカ福音書 9:46～48

今日の箇所は「弟子たちの間で、自分たちのうちだれがいちばん偉いかという議論が起きた。」と始まっています。どうして、こんな議論が起こって来たのでしょうか？弟子たちも彼らなりに各々、自信や実績を上げることが出来てきたことで、このような議論になったということでしょうか？

解説者の中には、このような議論が起こって来ることは、決して不思議ではない、どのような集団でもどんな小さなグループでも、そこに人が集まれば、どちらが偉いとか、誰が上か下か、必ず、そしていつも持ち上がって来る話題だと。確かにそうかもしれません。ある有名なお坊様が108個の煩惱(ぼんのう)を減していく段階で、食欲や色欲などは歳を取れば無くなっていくけれども、最後まで残る煩惱は“誰かを妬む心”であると正直に語っておられますように。

ただ、ルカ福音書を読む時、この《だれがいちばん偉いか》という議論が起きた原因について、直前のイエス様の言葉が大きく影響を与えたと記していると読めるのです。即ち「この言葉をよく耳に入れておきなさい。『人の子(=イエス様)は人々の手に引き渡されようとしている。』弟子たちはその言葉が分からなかった。彼らには理解できないように隠されていたのである。」と。その次の節で上記の《だれがいちばん偉いか》という議論が起きているのですから。これは天国で《だれがいちばん偉いか》ではありません(その点は22章24節以下で弟子達がもう一度、この議論をしています)。

イエス様が「人々に引き渡される」こととは捕まえられて裁判等にかけられてしまうことを指すと弟子達でも理解できたでしょう、いずれイエス様は自分たちの元を去ることだと。それ故、その後のこと、即ち、この多くの弟子達や聴衆をイエス様の後に誰が指導者となって率いて行くのだろうかという話題が起き上がって来てても不思議ではないのではないのでしょうか？おそらく、弟子達だけの間でこっそりと話し合われた議論だったのでしょうか。だから、次の節で

「イエスは彼らの心の内を見抜き」とあるのでしょうか。イエス様に聞かれては困る話だったからです。

そんな弟子たちの姿を見て、イエス様はわざわざ「一人の子供の手を取り、御自分のそばに立たせて」言われた言葉が『わたしの名のためにこの子供を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしをお遣わしになった方を受け入れるのである。あなたがた皆の中で最も小さい者こそ、最も偉い者である。』です。これは“子どものようになれ”と言われているのではありません。むしろ、子どものようなわがままで何をするか分からない存在を“受け入れる”ことが出来る者こそ「偉い=大きい」人間なのだと教えられたのです。人々に自分の意見や考えを押し通せるようになることが「偉い」のではなく、人の意見や考え、在り方を“受け入れられる”者こそ「偉い」のであると。私たちの《嫉妬や妬み》の心を根本から変える言葉では？

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 9月2日(水) 20:00
II. 9月3日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記

祈祷主題: チャペルコンサートを覚えて

担 当 者: (水) OR (木) MA

祈りに覚える人: TYさん TSさん

【教勢報告】

主日礼拝 男14 女45 計59

祈 祷 会 I. 男3 女2 計5 II. 男1 女6 計7

日曜学校 幼稚科4 小中科8 計12

ひつじ雲の会(8月24日(月)) 男0 女3 計3

【次週主日礼拝】 9月6日(日)

聖 書: エレミヤ書 33:14～22

ルカによる福音書 9:49～50

説 教: 「ルカ 85 — 敵か？味方か？」

武田 真治 牧 師

讃美歌: 16(1)、32、157、453、505、

【次週当番表】 75(1～2)、28

司式: IK長老 奏楽: SY 礼拝: IY長老

献金: TR NI 受付: NE MH

会堂準備: AA AT SM YE

看板: HS 週報: II お花: MH

【次週集会予定】

礼拝前: ・日曜学校 ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム

礼拝後: ・9月誕生者祝福 ・会堂管理委員会

・立教大学ハンドベルクワイアコンサート 13:30～

67 - 35

週 報

2026年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

2026年 8月 30日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧 師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549